

P1-051

**養護教諭と保健室に関する研究（3）
養護教諭免許取得希望学生が小学生時に
保健室と養護教諭に求めていたもの**平松 恵子¹、新沼 正子²、三宅 孝昭³¹びわこ学院大学、²安田女子大学、³大阪府立大学**【目的】**

子どもの健康は、心身両面に関わるものであり、保健室での養護教諭の対応は、子どもの将来の健康保持増進にまでも影響を及ぼす教育的効果があると考えた。そこで小学生時の養護教諭との関わりを検討し、今後の保健室・養護教諭のあり方を知る手掛かりを得ようとした。つまり養護教諭免許取得希望学生について養護教諭や保健室に対する印象・経験を明らかにすることで、養護教諭免許取得希望学生の参考になればと考えた。

【方法】

調査対象は、526名の大学生で、養護教諭免許取得を希望している112名の学生と希望していない学生414名であった。アンケート内容は、主に「養護教諭に求めるもの」「養護教諭への相談経験の有無と相談内容」であった。倫理的配慮として、学生に調査の目的と方法を説明し、調査への参加は自由意思であること、拒否による不利益が生じないこと等を口頭及び書面で説明し了解を得て実施した。

【結果】

調査対象526名のうち、養護教諭に相談したことがあるは「21.7%」となり、免許取得希望者は112名のうち「50.9%」で、養護教諭に相談する機会が後者は大となった。そして養護教諭に求めるものは、養護教諭希望者では、1.「話しやすい92.0%」、2.「やさしい85.7%」、3.「相談しやすい84.8%」、4.「話を聴いてくれる76.8%」、5.「包容力がある67.9%」、6.「手当が上手67.9%」となり、そうでない学生は1.「話しやすい80.9%」、2.「やさしい72.2%」、3.「手当が上手65.2%」、4.「相談しやすい55.3%」、5.「話を聴いてくれる48.3%」、6.「知識が豊富46.6%」となった。

【考察】

養護教諭免許を取得予定の学生は、養護教諭に対する興味関心、養護教諭への相談や養護教諭とのふれあいに関わる体験を経て、養護教諭免許取得希望への意思が強くなる。また、小学校における養護教諭像に加え、生徒・学生へと移行するにつれて養護教諭像が変化し、養護教諭に求めるものと将来より多くの子どもたちのニーズに応えられるよう、技術面、人間性の構築が求められる。

【まとめ】

養護教諭免許を取得予定の学生の方が、そうでない学生よりも保健室の利用頻度や相談経験のある者の割合が高かったことから、養護教諭との関わりにより影響を受けやすいことが示された。従って、将来養護教諭を志望するきっかけとなる可能性も踏まえて、来室者に関わることの必要性が示唆された。